

第2回（仮称）「ワイがや通り」活性化円卓会議 概要

○日 時 平成24年6月26日（火）午後1時30分～午後3時30分

○場 所 習志野市役所分室（サンロード津田沼 6階）特別会議室

○出席者

習志野市商工振興課：藤原、近藤 協働まちづくり課：花澤、高田、酒主

津田沼連合町会：古市副会長

市民活動有志：高村氏、朝倉氏、植松氏

NPO 法人ちば経営応援隊：浅井氏、齋藤氏、吉村氏

NPO 法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク：小山氏

NPO 法人セカンドスペース：成瀬氏

※津田沼商店街協同組合：岡野理事長、同青年部：植草氏 →→ 欠席

1. 会議内容（概要）

(1) 前回（第1回 5/29）の会議概要の説明

- ・習志野市商工振興課より、第1回円卓会議の会議概要について説明

(2) 円卓会議のネーミングについて

- ・今後、事業を本格的に展開していく中で、「円卓会議」という名称は硬く、地域の方に親近感をもってもらうためにネーミングを付けた方が良いとの提案があり、メンバーで検討した。

（提案・意見）

○地名を入れる。

○商店街だけではなくもっと広いイメージで

○「タヌキ」、「みんなでワイがや」、「ワイがやミーティング」、「チームワイがや」

○県事業（申請や報告等）としての事業名は、「ワイがや通り活性化」協働事業の検討並びに活動基盤強化事業」となっている。

○県への申請や報告に関しては、円卓会議という名称は使用することとなる。

○キャッチコピー（みんなでワイがや）やメンバーの名称（チームワイがや）も検討していく。

○ロゴ等も作成する。

※基本的な名称はきちっと決める。

※通称、愛称は別に決める。⇒ホームページ等で使用する。

- ・上記内容を含め、検討を行った結果、

《円卓会議のネーミング》

★決定したネーミング：「ワイがやミーティング」（地域活性化協働事業）

(3)意見交換(今後のスケジュール、取り組み含む)

- ①ホームページの開設を含め、今後の実施スケジュールが必要
- ②メンバーで情報共有、共通認識することが重要
- ③方針の明確化、事業コンセプトが重要
- ④市民、地域の人、他の人が問い合わせの際に、統一的に応答、対応できるようにする。

↓

○市民、住民サイドで対応できるようにした方が良い。

- ⑤「SWOT分析」⇒強み、弱みの整理

↓

○活性化に向けた戦略づくり

○「コンセプト」⇒「SWOT」⇒「戦略づくり」

○基本的な、大きな方針・コンセプトの洗い出し。

○現在もっている強みややれる事から取り組んでいく。

- ⑥地域住民同士、ボランティア活動同士の関係が希薄である。

↓

(例) 音楽グループに発表する場を提供したら申し込みが多数ある。

「てんとうむし体操」も講習が終わったら商店街へ食事に行く。

- ⑦「人が集まる」ための取り組みを実施する。
- ⑧「京成津田沼駅前」と「みはし湯」を繋ぐ・結ぶ、出来事を作る。

↓

(例) 街角コンサート

○高村氏：みはし湯⇒落語、サクソ演奏、語りと音楽

○「みはし湯」と「駅前」を拠点とする。(結ぶ)

○イベントだけだと一過性で終わってしまう。

- ⑨「物販」を放棄してしまっても良いのか。

↓

○空き店舗等を活用して、野菜や魚の販売

○定期的な販売から日常的な販売へ

○地域（人）の活性+経済の活性、地域の活性化=商店街の活性化

○個々（地域、商店街等）の力だけでは限界がある。

○商店街の活性化には、経済面も含めるべき。⇒「ワイがや通り」は特に必要

○津田沼商店街の立地状況（近隣に大型店がある等）から商売、経済活性化は難しい。

○恒久的な事業を考えるべき⇒商店だけで運営は無理である。⇒地域の協力が必要不可欠

○物販の案は、イベント的なものである。

- ⑩「街の色分け」をしっかりとる。(飲食店だけとか)

- ⑪アーケードの問題も商店街としての利用から考える方が良い。

↓

○アーケードに関しては、「津田沼商店街協同組合」、「アーケード組合」、「オリオンビル組合」といった組合が関係している。

○オリオンビル組合はアーケードがあった方が良く考えている。⇒最近、改装した。

⑫イベントを実施して、人を集める。

↓

○一過性というわけにはいかない。継続性のあるものにすべき。

⑬千葉工業大学（鎌田先生）の協力

↓

○最近、学生の就職活動のために、地域活動を積極的に行っている。

⑭具体的な活性化への取り組みを実施することが必要

↓

○これまで色々な意見を出し合ってきた。

⑮既存のお店に物販をお願いすることは厳しい。

↓

○物販に関しては、イベント的な要素で実施してみる。

⑯「カフェ」の出店も検討する。

⑰「土地の値を上げる」方策が必要との意見もある（不動産関係）

↓

○外から人を入れる。（店を出してもらおう。）⇒起業・店を誘致

○青森では、起業する人に店を安く貸す。

⑱市役所が近くにあるし、10月以降に駅前に一部移転するので、市役所を活かす商売、活性化事業を実施してみてもどうか。⇒市役所が利点を活かしていない。

⑲古着のリサイクル（原宿をイメージ）、市民の展示・販売、音楽なども活用する。

⑳ターゲットを絞る。⇒男、女、年齢、趣味 等

↓

○「どんな街にしたいか」＝ターゲット

○ターゲットを絞ってしまっているのか

㉑「地域の人に集まってもらいたいのか」、「外部の人に集まってもらいたいのか」

↓

○津田沼（京成津田沼）の立地条件から「外部の人」ではないか

○「地域の人」については、連合町会やまちづくり会議でも取り組んでいる。

㉒まずは、「女性」に絞ってみてはどうか。

↓

○雑貨や衣服

㉓外部の人のターゲットの範囲は

↓

○東方面は「八千代」、千葉方面は「稲毛」

○西方面（船橋より西）は、都内等に出してしまうと思われる。

㉔「音楽のまち習志野」を使わない手はない。

↓

○若手のアーティスト（音楽家）を育てる活動をしている。（高村氏）

㉔キーワードは「音楽」と「花」

↓

- 世代を超えて「音楽」と「花」で集うまち習志野⇒コンセプト
- 若手の人材育成
- 音楽と花をターゲットにする。
- 文教都市＝文化、芸術を取り入れる。

㉕千葉工業大学 鎌田研究所と連携してもいいのでは。

↓

- 現在、他の協働事業で、「花を植える・増やすプロジェクト」を実施している。
- 市民カレッジ16期生が中心

㉖活動等を地域住民に周知する必要がある。

↓

- 活動の経過や内容等をお知らせする。⇒ホームページだけではなく、「掲示板」等で
- 市民への周知＋窓口＋情報発信することが必要
- せっかくのアイデア、活動が無駄になる。

㉗しっかりとした「窓口」が必要。（参加、アイデア、クレーム等）

↓

- 当初は、携帯電話でも良い。

★次回円卓会議

日 時：7月18日（火） 午後2時～

場 所：習志野商工会議所 3階 特別会議室

※次々回：8月3日（金） 午後2時～ サンロード津田沼 6階 特別会議室（予定）

（4）主な決定事項、確認事項等

①円卓会議のネーミング

★決定したネーミング：「ワイがやミーティング」（地域活性化協働事業）

⇒ 県への申請や報告に関しては、円卓会議という名称は使用することとなる。

○キャッチコピー（みんなでワイがや）やメンバーの名称（チームワイがや）も検討していく。通称、愛称は別に決める。⇒ホームページ等で使用する。

○ロゴ等も作成

②ホームページの開設を含め、今後の実施スケジュールが必要

③メンバーで情報共有、共通認識することが重要

④方針の明確化、事業コンセプトが重要

⑤キーワードは「音楽」と「花」

○コンセプト：世代を超えて「音楽」と「花」で集うまち習志野

⑥千葉工業大学 鎌田研究所との連携（「花を植える・増やすプロジェクト」）

⑦活動等を地域住民に周知する必要がある。

○活動の経過や内容等をお知らせする。⇒ホームページだけではなく、「掲示板」等で

○市民への周知＋窓口＋情報発信することが必要

⑧しっかりとした「窓口」が必要。（参加、アイデア、クレーム等）